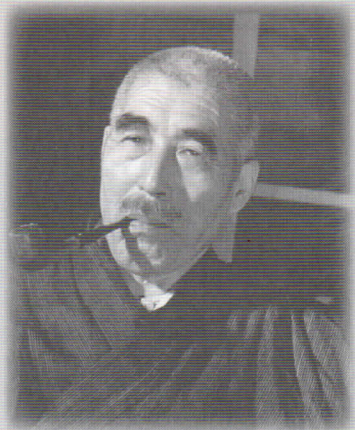


海道東征

交声曲「海道東征」は、1940年(昭和15年)の「皇紀2600年奉祝行事」のために書かれました。作曲は、山田耕筰らとともに日本の洋楽の礎を作った信時潔(1887-1965)。「海ゆかば」の作曲家としても知られる信時が、オーケストラと声楽が一体となった壮大なカンタータ(交声曲)として作曲しました。歌詞は、『日本書紀』や『古事記』の記述を元に詩人・北原白秋が作詩。演奏時間50分に及ぶ大曲で、国産みから神武東征までを吟ずる8章からなり、日本建国の神話を格調高く描いた世界に誇る名曲です。ぜひご期待ください。



信時 潔 写真提供：信時 裕子

第1章 高千穂(たかちほ)

天地創造の場面から始まり、日向の国の高千穂の土地柄のよさが贅えられる。しかし、天照大御神の孫であるカムヤマトイハレビコミコ(後の神武天皇)は、「わが国を統治するには早く東へ向かわねばならぬ」とうたう。

第2章 大和思慕(やまとしほ)

出発前、まだ見ぬ大和の国を憧れてうたう。『古事記』からの引用で「大和は国のまほろば」という有名なフレーズで始まる。

第3章 御船出(みふなで)

日が昇り、イハレビコたちの顔が朱に染まる。ちょうど満ち潮になり、いよいよ船出。東征が始まる。

第4章 御船謡(みふなうた)

船出にあたり、旅の安全を祈願する。「祝詞」が引用されている。

第5章 速吸と菟狹(はやすいとうさ)

速吸は大分県と愛媛県間の佐賀関海峡、菟狹は大分県宇佐地方をさす。速吸の海峡での出来事をわらべうた風にうたい、菟狹に上陸した一行が歓迎される様子を日本の中世歌謡風にうたう。

第6章 海道回顧(かいどうかいこ)

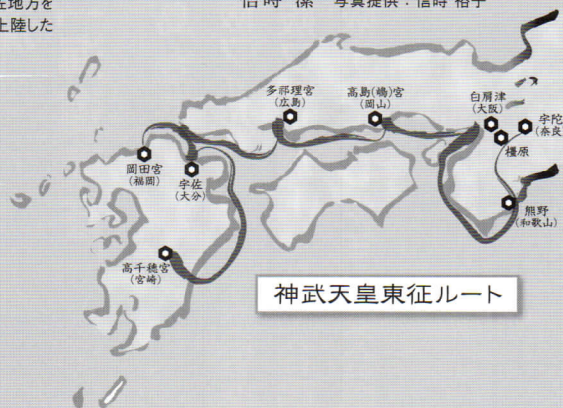
宇佐にしばらく滞在した後、筑紫の国、安芸の国、吉備の国を経てゆっくりと東を目指す。

第7章 白肩の津上陸(しらかたのつじょうりく)

一行は河内の国、白肩之津に上陸するが、長髓彦(ながすねひこ)の軍勢と戦闘になる。

第8章 天業恢弘(てんぎょうかいこう)

イハレビコは大和の橿原で天皇に即位する。三種の神器への賛歌がうたわれ、日本が建国される情景で結ばれる。



F.シューベルト 交響曲 第7番 口短調 D.759「未完成」

歌曲を中心に珠玉の作品を数多遺した天才、フランツ・シューベルト(1797-1828 オーストリア)。1822年に口短調の交響曲に着手しますが、何故か2楽章まで書いたのち作曲を放棄、その後このシンフォニーは43年間日の目を見ることはありませんでした。第1楽章 アレグロ・モデラートは、地底を這うような低弦の冒頭、憂愁をたたえた有名な主題が転調を繰り返し、不安と孤独を暗示するような厳肅な世界。一転、第2楽章 アンダンテ・コン・モートは、あまり

に美しい旋律と牧歌的な木管の響きが、聴くものを光溢れる天国へと誘います。この秀抜な作品が、なぜ「未完成」になってしまったのかは未だ謎のままです。芸術的判断なのか、単に忘れたのか…多くの憶測がなされ諸説あるものの、対照的な巨塔のような、卓越したふたつの楽章で構成されたこの傑作は、「未完」と呼称されながら完遂しており、作曲家の代表作として現代も高い人気を誇っています。



指揮者 福島 章恭
FUKUSHIMA AKIYASU

桐朋学園大学卒業。1996年ベルニウスのマスタークラス受講。2004年、高田三郎「水のいのち」ウィーン初演。2010年パチカン・システィーナ礼拝堂にて日本人初指揮。2017年ウィーン・シュテファン大聖堂にてモーツァルト「レクイエム」を指揮し好評を博した。また、ライブツィヒのトーマス教会では2013年バッハ「ロ短調ミサ曲」、2016年「マイ受難曲」の成功を受け、2018年にも「ロ短調ミサ曲」を再び指揮した。1994年、柴田南雄音楽奨励賞。「新版クラシックCDの名盤」(宇野功芳・中野雄 共著・文春新書)ほか著書多数。2015年大阪フィルハーモニー合唱団の指揮者に就任。同団の飛躍的躍進に貢献している。



管弦楽 大阪フィルハーモニー交響楽団 OSAKA PHILHARMONIC ORCHESTRA

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立、1960年改称。創立から2001年までの55年間朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務め、大阪フィルは個性と魅力溢れるオーケストラとして親しまれてきた。大植英次音楽監督時代には、「星空コンサート」「大阪クラシック」といった大型プロジェクトで注目を集め、2014~2016シーズンは井上道義を首席指揮者に迎え、「シヨスタコーヴィチ／交響曲第4番」「交響曲第7番」「交響曲第11番」の録音が相次いでリリースされる等、高い評価を得た。2018年4月、尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール(大阪・中之島)を中心に全国各地で演奏活動を展開している。2017年度文化庁芸術祭・優秀賞受賞。2017-2018年度関西音楽クリテッククラブ賞本賞、大阪文化祭賞を二年連続で受賞。2018年11月新たに尾高忠明指揮「ブルクナー／交響曲第8番」をフォンテックよりリリース。 <http://www.osaka-phil.com>

4月19日(金) 10:00からチケット発売

●ザ・シンフォニー チケットセンター

TEL 06-6453-2333

(10:00~18:00 ※火曜定休)

インターネット <http://www.symphonyhall.jp/>

●大阪フィル・チケットセンター

TEL 06-6656-4890

(平日10:00~18:00、土曜10:00~13:00)

※日・祝・年末年始は休業

インターネット <http://www.osaka-phil.com/>

※ユースチケット(25歳以下対象)については大阪フィル・チケットセンター、ローソンチケットのみ取り扱い。

●チケットぴあ

TEL 0570-02-9999 (Pコード:149-340)

インターネット <http://pia.jp/t>

ぴあ店頭、セブン-イレブン

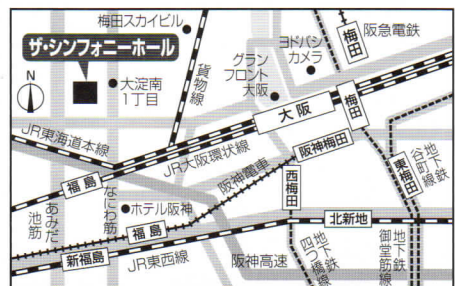
●ローソンチケット

TEL 0570-084-005 (Lコード:54803)

TEL 0570-000-407 (オペレーター対応 ※10:00~20:00)

インターネット <http://l-ticket.com/>

ローソン、ミニストップ 端末Loppi



ザ・シンフォニーホールへのアクセス

- JR大阪環状線 福島駅から北へ徒歩約7分
- JR東西線 新福島駅①番出口から北へ徒歩約10分
- 阪神電車 福島駅②番出口から北へ徒歩約10分
- JR大阪駅から西へ徒歩約15分

◇お問い合わせ 産経新聞社事業本部 TEL 06-6633-9254 (平日10:00~18:00)

◇ホームページ http://www.eventscramble.jp/e/kaido_tosei/

※やむを得ない事情により、出演者・曲目を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。